


閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

道の駅 奥河内くろまろの郷	
日時	平成 30 年 1 月 22 日（月） 13:00～15:00
場所	大阪府河内長野市高向 1218 - 1
出席者	菅沼利紀委員長、松井圭子副委員長、植中都委員、桑原田美知子委員、堀田繁樹委員、大島正秀委員 建設経済部長、議会事務局 2 名
説明者	河内長野市 環境経済部長、農林課長
視察内容	道の駅、併設レストランの運営について
次第	① 開会 ② 歓迎挨拶（環境経済部長） ③ 訪問挨拶（菅沼委員長） ④ 出席者紹介 ⑤ 研修（道の駅について） ⑥ 質疑応答 ⑦ 施設見学 ⑧ 謝辞（松井副委員長） ※併設レストランにて昼食
主な 質疑応答等	<p>問道の駅事業をはじめのきっかけは。</p> <p>答地産地消の推進と観光産業拠点づくり、交流人口の増加促進を行うため。</p> <p>問集客の取組みで特色のあるものは。</p> <p>答河内長野駅前発、滝畑ダム行き路線バスの半数を道の駅に経由。</p> <p>問利用者の割合などは。</p> <p>答市内 5 割、市外 5 割。インバウンドはほぼ無、6 割の利用者は 60 歳以上。</p> <p>問他施設との差別化と協力体制は。</p> <p>答買い物だけでなく、周辺施設での体験プログラムやサイクリングなど 1 日楽しめることの出来る道の駅としている。道の駅連絡会との連携。</p> <p>問販売物の確保では何を行っているか。</p> <p>答専門職員による栽培支援、講習と営農指導を実施。6 次産業化の補助事業を実施。</p> <p>問農福連携の取組みは。</p> <p>答障がい者作業所が栽培した野菜をレストランで使用している。</p> <p>問指定管理者の競合はありますか。</p> <p>答平成 25 年選定時は 2 社、平成 28 年度選定時は 5 社の参加。</p>

<p>委員長所感</p>	<p>農家レストランはあまり大きくはないが、平日にも関わらず女性客で賑わっていた。季節によっては軒下での食事も可能で、席数も増えるようになっている。バイキング形式で90分間（土日祝70分）の食べ放題となっているため、回転率は良くないように感じた。メインに地元産の野菜の天ぷら（自由オーダー）があり、サラダ、惣菜、郷土料理、ごはん、そば、飲み物なども充実していた。接客の対応に経費はかけず、食材とレパートリーで還元する方針のようである。厨房内では職人のような方は見られないが、調理に従事する女性が数名見られた。表で見える感じでは、厨房は決して大きくはない。店の雰囲気、メニュー、値段、滞在時間も当初から女性をターゲットに絞り、運営をされている様である。おこさま連れの主婦はあまり見かけなかったが、施設的にも子育て世代に利便性のあるスペースが見られなかった。直販所の集客を活用し、運営をしているとの回答であったので色々理解するが、単体でも十分に人気を取れるコンセプトではないかと感じた。ここぴあの直販所の結果が振るわないなか、湖南市の農家レストランでもある程度参考にする価値はあると感じる。ただ、河内長野市の農家レストランの運営会社は手広く給食業を行う企業であるため、専門性や独自性に欠けるところもあるので管理者の選定は大切であると感じる。専門家の意見も尊重し、市で考え付かないチャレンジも許容しながら市の求める目的も達成していくため、柔軟な運営に協力可能な弾力性のある管理者が必要であると感じた。</p>
<p>写真</p>	 The first photograph on the left shows the interior of a restaurant with several tables and chairs. People are seated at the tables, and there are large windows in the background. The second photograph on the right shows a group of seven people, including men and women, standing together for a group photo in what appears to be the same restaurant setting.

道の駅 かつらぎ	
日 時	平成 30 年 1 月 23 日 (火) 9:30~11:30
場 所	奈良県葛城市太田 1257
出席者	菅沼利紀委員長、松井圭子副委員長、植中都委員、堀田繁樹委員、大島正秀委員 建設経済部長、議会事務局 2 名
説明者	葛城市 総務建設常任委員長、産業経済部長、株式会社道の駅葛城代表取締役社長、統括部長
視察内容	道の駅、併設レストランの運営について
次 第	① 開会 ② 歓迎挨拶 (総務建設常任委員長、代表取締役社長) ③ 訪問挨拶 (菅沼委員長) ④ 出席者紹介 ⑤ 研修 (道の駅について) ⑥ 質疑応答 ⑦ 施設見学 ⑧ 謝辞 (松井副委員長) ※併設レストランにて昼食
主な 質疑応答等	<p>問道の駅事業をはじめのきっかけは。</p> <p>答合併後の建設計画の南阪奈道路インターの活用に基づき、タウンミーティングを開催したところ地産地消にもつながる総合的な施設の設置要望があり、平成 22 年に市民ワーキング会議の発足、平成 23 年 5 月に地域活性化事業基本計画、同年 10 月商工農業者有志から新道の駅の設立要望書が提出され現在に至る。</p> <p>問集客の取組みで特色のあるものは。</p> <p>答コミュニティバスを循環させている。</p> <p>問利用者の割合などは。</p> <p>答オープンから 13 カ月で 551,234 人、月平均 42,000 人が来場。平日は近隣市町村が中心であるが土日祝は県外観光客が大多数、インバウンドの利用はほぼなし。</p> <p>問他施設との差別化と協力体制は。</p> <p>答加工処理施設が強みであり、他の道の駅と連携しながら商品を置いて頂いている。</p> <p>問販売物の確保では何を行っているか。</p> <p>答出荷会員登録数は 646 件、内 491 件が出荷。野菜 16%、果物 11%、花類 8%、加工品 43%。旬により偏りが発生するため年間を通しての植え付けな</p>

	<p>どが課題となっている。</p> <p>問農福連携の取組みは。</p> <p>答道の駅としては行っていない。障がい者作業所と連携した加工の販売は行っている。</p> <p>問指定管理者の競合はありますか。</p> <p>答平成 27 年 11 月 20 日から 1 週間の公募で 1 社のみ。</p>
<p>委員長所感</p>	<p>農家レストランは合計 6 店舗、直営 2 店舗という形態である。1 日の状況ではあるが、大半は直営店での売り上げではないかと感じた。指定管理者である経営母体の地域性が強いいため、そのような影響があるのではと感じた。フードコート形式で、近隣商業施設にあるようなイメージである。おばんざい形式で惣菜を何点か選べるため、季節に応じて地元野菜の活用が可能になっている。表上厨房はないが、裏手に共有スペースでの厨房があり、設備上投資高になる施設の合理化を図っているのではないかと推測する。平日の昼時であったが、220 席の全てが埋まるような環境ではない。現在も工事を続けており、観光発信拠点やイベント開催などこれから充実化を図る内容がまだある段階の施設であった。参考にする部分は、新規事業を継ぎ足していく同じ環境の中で、同じベクトルと一貫性を失わず組み立てていくことではないかを感じる。現在の指定管理者の意見や経営方針とも合致を行いながら施設をつくり、管理者を決める。そのことが市民の求める公共サービス、市場で生き残れる一貫性のある総合施設になるのではと考える。行政の負荷を考えれば、総合的に管理運営を進められる管理者を決定し、詳細は管理者の元で分割化していくような管理体制も今後考えるべきではないかと後日感じた。</p> <p>双方の直売所では、花の販売が充実されていた。売り上げについても良いようである。大都市消費が近隣にあるため、生産者も充実しているであろうが、集客の大きな要因となっている様である。取り込めるのであればここぴあも充実すべきだという声が多く聞かれた。</p>
<p>写 真</p>	

ここぴあとの比較表

	ここぴあ	奥河内くろまろの郷	道の駅かつらぎ
敷地面積	約 6,043 m ²	約 17,704 m ²	約 33,000 m ²
直売所面積	約 1,347 m ²	約 1,456 m ²	約 711 m ²
総事業費	約 8 億円 (レストラン含)	約 14 億円	約 31 億円
管理の形式	指定管理	指定管理	指定管理
管理者	J A こうか	J A 大阪南	(株)道の駅葛城
営業時間	9 時～18 時	9 時～18 時	8 時半～19 時
想定売上／年	H29 年度 2 億 3400 万円	H29 年度 5 億円	H28.11～H29.10 8 億 1 千万円
売上実績	H29.4～H29.12 1 億 277 万 4000 円	H29.4～H30.1 約 5 億	H28.11～H29.10 約 9 億円
休業日	年末年始	木曜日、年末年始	年中無休
イベント等	あげあげサミット、 元気市場など	月 1 回の魚市など	生産者直販市など
特 色	体験農園等を予定	サイクリング [®] のトレーニング [®] 拠 点との融合	コミュニティバス発着点、 ICT 買い物支援
観光案内所の有無	なし	有り	有り
レストランの有無	予定※以下詳細予定	有り	有り
レストラン面積	約 212 m ²	約 175 m ²	約 350 m ²
レストラン数	1 店	1 店	直営 2 店、テナント 4 店
想定売上／年	未設定	H29 年度 4,697 万	非公開
売上実績	—	H29.4～H30.1 4,691 万 7,179 円	非公開
客席数	未定	68 席/他 38 席	220 席
レストランの特色	3 月 30 日完成予定	地元野菜の 90 分食べ 放題のバイキング方式	地産地消のおばんざ い食堂形式

※他、道の駅 しらとり郷 羽曳野／道の駅 愛彩ランド／道の駅 お茶の京都みなみや
ましる村の 3 施設にも立ち寄り見学